



平成30年11月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年10月5日

上場会社名 株式会社 小島鐵工所
 コード番号 6112 URL <http://www.kojimatekko.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 児玉 正蔵

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 田中 教司

TEL 027-343-1511

四半期報告書提出予定日 平成30年10月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年11月期第3四半期の業績(平成29年12月1日～平成30年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-------|------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年11月期第3四半期 | 1,404 | 26.5 | 49 | | 32 | | 33 | |
| 29年11月期第3四半期 | 1,110 | 11.0 | 104 | | 92 | | 85 | |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年11月期第3四半期 | 33.74 | |
| 29年11月期第3四半期 | 85.13 | |

(注) 平成30年6月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり、四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|-------|-----|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年11月期第3四半期 | 3,391 | 635 | 18.7 |
| 29年11月期 | 3,340 | 671 | 20.1 |

(参考) 自己資本 30年11月期第3四半期 635百万円 29年11月期 671百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年11月期 | | 0.00 | | 0.00 | 0.00 |
| 30年11月期 | | 0.00 | | | |
| 30年11月期(予想) | | | | | |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年11月期の業績予想(平成29年12月1日～平成30年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|------|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,000 | 16.7 | 30 | | 40 | | 30 | | 30.02 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成30年6月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年11月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 30年11月期3Q | 1,003,564 株 | 29年11月期 | 1,003,564 株 |
| 期末自己株式数 | 30年11月期3Q | 4,365 株 | 29年11月期 | 4,289 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 30年11月期3Q | 999,215 株 | 29年11月期3Q | 999,278 株 |

(注) 平成30年6月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な手続きに基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値と異なる場合があります。なお、上記に関する事項は(添付書類)p2「業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

(株式併合の業績予想について)

当社は、平成30年2月23日開催の第117回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成30年6月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年11月期の業績予想は以下のとおりとなります。

1株当たり当期純利益 通期3円00銭

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | |
| (1) 四半期貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期損益計算書 | 4 |
| 第3四半期累計期間 | 4 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 5 |
| (4) セグメント情報等 | 5 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 5 |
| (6) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 5 |
| (7) 会計方針の変更 | 5 |
| (8) 会計上の見積りの変更 | 5 |
| (9) 重要な後発事象 | 5 |
| 3. 補足情報 | |
| (1) 生産、受注及び販売の状況 | 5 |
| (2) 生産設備、減価償却、研究開発費の推移 | 5 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社売上高につきましては、当社の主製品である油圧プレス機は、形状、能力、機能のほか、納期、一台当たり金額もそれぞれ異なる個別受注生産でありますので、月単位での売上は一定しておらず、季節的変動によるものでもなく、納期的、金銭的なバラツキにより売上の変動が大きく、また、当社製品が大型機械ゆえ、設計・生産着手から納品・据付まで平均して1年程度を要するため、受注から売上計上まで相当期間のズレが生じてしまうのが当社事業の特性であります。なお、一部請負工事物件につきましては、工事進行基準を適用して売上処理を行っております。

このような事業の特性を持つ当社におきまして、当118期第3四半期累計期間における売上高につきましては、翌期納品予定の大型受注物件2台の生産着手に伴う工事進行売上が寄与し、前年同四半期（11億10百万円）を上回る14億4百万円を計上できました。

利益面につきましては、引き続き原価低減や経費全般に亘る節減に努めており、損失範囲ではありませんが、前年同期四半期純損失（85百万円）から、当118期第3四半期純損失は33百万円へと前進でき、当事業年度の黒字回復に期待しているところでございます。

受注状況につきましては、当第2四半期累計期間に確保した大型受注物件（鍛造業界向け物件2台18億88百万円及びプラント設備工事に関する大型物件20億円）に加え、中型物件2台約5億円の受注が成約となり、当第3四半期累計期間受注高は、前年同期13億49百万円から50億48百万円へと大きく伸張し、また受注残高におきましても、前年同期末（13億83百万円）から46億87百万円へと大幅な増加を確保できております。現在、厳しい受注環境が続いておりますが、有望な引き合い物件も浮上しており、これらの成約に向け全力で努力し、一層の受注増加・売上増加に向け前進しているところであります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期の財政状態については、資産合計は、前事業年度末に比べ、50百万円増加し、33億91百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が1億86百万円減少しましたが、現金及び預金が2億39百万円増加したことによります。

負債合計は、前事業年度末に比べ、86百万円増加し、27億55百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が2億59百万円減少しましたが、前受金が3億21百万円及び賞与引当金が26百万円増加したことによります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ、35百万円減少し、6億35百万円となりました。これは主として、利益剰余金が33百万円減少したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年6月29日に公表した通期業績予想につきましては、平成30年10月5日（当決算短信の開示と同日）に「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成29年11月30日) | 当第3四半期会計期間 (平成30年8月31日) |
|--------------|------------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,255,035 | 2,494,057 |
| 受取手形及び売掛金 | 320,164 | 133,864 |
| 仕掛品 | 14,865 | 48,521 |
| 原材料 | 33,312 | 34,233 |
| その他 | 46,014 | 55,832 |
| 流動資産合計 | 2,669,392 | 2,766,509 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 賃貸不動産（純額） | 189,201 | 180,207 |
| その他（純額） | 410,110 | 383,302 |
| 有形固定資産合計 | 599,311 | 563,509 |
| 無形固定資産 | 27,825 | 18,701 |
| 投資その他の資産 | 44,339 | 42,924 |
| 固定資産合計 | 671,475 | 625,136 |
| 資産合計 | 3,340,867 | 3,391,646 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 619,380 | 359,525 |
| 短期借入金 | 1,530,000 | 1,530,000 |
| 未払法人税等 | 4,860 | 2,230 |
| リース債務 | 18,220 | 18,838 |
| 前受金 | 240,581 | 562,427 |
| 賞与引当金 | - | 26,000 |
| 工事損失引当金 | 2,450 | 1,790 |
| その他 | 62,350 | 75,816 |
| 流動負債合計 | 2,477,843 | 2,576,627 |
| 固定負債 | | |
| リース債務 | 21,443 | 9,890 |
| 繰延税金負債 | 2,456 | 1,671 |
| 退職給付引当金 | 67,605 | 67,559 |
| 長期預り敷金 | 100,000 | 100,000 |
| 固定負債合計 | 191,505 | 179,122 |
| 負債合計 | 2,669,348 | 2,755,749 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 501,782 | 501,782 |
| 資本剰余金 | 5,373 | 5,373 |
| 利益剰余金 | 164,569 | 130,856 |
| 自己株式 | △5,815 | △5,933 |
| 株主資本合計 | 665,910 | 632,078 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5,608 | 3,817 |
| 評価・換算差額等合計 | 5,608 | 3,817 |
| 純資産合計 | 671,519 | 635,896 |
| 負債純資産合計 | 3,340,867 | 3,391,646 |

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自 平成28年12月1日 至 平成29年8月31日) | 当第3四半期累計期間 (自 平成29年12月1日 至 平成30年8月31日) |
|---------------|--|--|
| 売上高 | 1,110,063 | 1,404,211 |
| 売上原価 | 1,025,301 | 1,254,204 |
| 売上総利益 | 84,761 | 150,006 |
| 販売費及び一般管理費 | 189,670 | 199,663 |
| 営業損失 (△) | △104,908 | △49,657 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 21 | 59 |
| 受取賃貸料 | 46,764 | 44,764 |
| その他 | 4,262 | 3,440 |
| 営業外収益合計 | 51,047 | 48,264 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 17,369 | 17,228 |
| 不動産賃貸費用 | 20,446 | 14,103 |
| 為替差損 | 477 | 235 |
| 営業外費用合計 | 38,293 | 31,566 |
| 経常損失 (△) | △92,154 | △32,960 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 7,824 | - |
| 特別利益合計 | 7,824 | - |
| 税引前四半期純損失 (△) | △84,329 | △32,960 |
| 法人税等 | 742 | 753 |
| 法人税等合計 | 742 | 753 |
| 四半期純損失 (△) | △85,072 | △33,713 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は、プレス機械のメーカーとして単一の事業を営んでおります。従いまして、セグメント情報の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(7) 会計方針の変更

該当事項はありません。

(8) 会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

(9) 重要な後発事象

該当事項はありません

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

製品別売上高・受注高・受注残高

(単位：千円未満切捨表示)

| 製品別 | | 前第3四半期累計期間 (第117期) | | 当第3四半期累計期間 (第118期) | | 増 減 | |
|------------------|----------|-----------------------|-------|-----------------------|-------|-----------|-------|
| | | 金額 | % | 金額 | % | 金額 | % |
| 製品 売上 高 | プレス | 1,075,043 | 96.8 | 1,360,231 | 96.9 | 285,188 | 26.5 |
| | その他の機械工事 | 35,020 | 3.2 | 43,980 | 3.1 | 8,960 | 25.6 |
| | 合計 | 1,110,063 | 100.0 | 1,404,211 | 100.0 | 294,148 | 26.5 |
| | (うち輸出) | (65,520) | (5.9) | (2,967) | (0.2) | (△62,553) | △95.5 |
| 受 注 高 | プレス | 1,321,722 | 98.0 | 3,022,805 | 59.9 | 1,701,083 | 128.7 |
| | その他の機械工事 | 27,420 | 2.0 | 2,025,327 | 40.1 | 1,997,907 | — |
| | 合計 | 1,349,142 | 100.0 | 5,048,132 | 100.0 | 3,698,990 | 274.2 |
| 受 注 残 高 | プレス | 1,383,520 | 100.0 | 2,614,196 | 55.8 | 1,230,676 | 89.0 |
| | その他の機械工事 | — | — | 2,073,540 | 44.2 | 2,073,540 | — |
| | 合計 | 1,383,520 | 100.0 | 4,687,736 | 100.0 | 3,304,216 | 238.8 |

(2) 設備投資、減価償却、研究開発の推移

設備投資、減価償却、研究開発費の推移については、開示の重要性が乏しいため、記載を省略しております。